

令和04年度日進市事務事業評価シート

大事業名		基幹施設整備事業		コード		03110100-0302		
中事業名		スマートインターチェンジ整備事業		計画区分		①②③		
担当部等		産業政策部		担当課等		基幹施設整備課		
総合計画		コード	名 称	予算科目	コード	名 称		
	基本目標	03	暮らしやすいまちを創る		会計	1	一般会計	
	基本施策	11	道路		款	08	土木費	
	主要施策	01	幹線道路整備		項	04	都市計画費	
					目	01	都市計画総務費	
					大	03	基幹施設整備事業	
					中	02	スマートインターチェンジ整備事業	
根拠法令・条例等								
基本計画等		日進市人口ビジョン・総合戦略 等						

1 事業概要「PLAN（計画）」

事務事業の概要	東名高速道路へのアクセス性向上による産業振興・物流効率化や、一般道の渋滞緩和、観光施設及び防災拠点へのアクセス向上などの効果が期待される、（仮称）東郷スマートインターチェンジの整備を推進する。
対象	スマートインターチェンジ、周辺道路等
意図（目的）	スマートインターチェンジ及び周辺道路を整備することにより、東名高速道路へのアクセス性向上による市民の利便性の向上、周辺企業活動の活性化、観光地の振興促進、大規模災害への対応強化を図る。
手段	スマートインターチェンジ及び周辺道路の整備に向けた関係機関との調整及び設計、用地取得、工事

2 実施結果「DO（実施）」

事業費（千円）			R2予算額	R2決算額	R3予算額	R3決算額	R4予算額	R4決算額	R5予算額
			158,071	30,370	162,689	61,571	112,351	74,744	29,262
財源内訳	特定財源	国庫支出金	11,635	0	11,690	0	14,175	0	360
		県支出金	0	0	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0	0	0
		その他	41,206	3,463	37,694	36,769	31,972	30,014	0
	一般財源		105,230	26,907	113,305	24,802	66,204	44,730	28,902
人件費	正規職員	業務量		0.00 人		0.00 人		1.93 人	0.00 人
		人件費		0.00		0.00		12,503.00	0.00
	会計年度任用職員	業務量		0.00 人		0.00 人		0.00 人	0.00 人
		人件費		0.00		0.00		0.00	0.00
総事業費（千円）				30,370		61,571		87,247	0

令和04年度日進市事務事業評価シート

○令和 4年度に記載した具体的な改善内容

令和 4年度に 実施する具体的な 改善内容	周辺住民や地権者の理解を得ながら関係機関と調整し、具体的な計画の一部見直しを提示し、事業の進捗を図っていく。
今後 (1～3年以内) 実施可能な 改善内容	事業の進捗に理解を深めていただくため、周辺住民や地権者、関係機関等と十分な協議、調整等を行う。
令和 4年度に 取り組んだこと	沿線施設及び住民と現行の計画の課題について調整を進め、整備事業計画の一部見直しを行った。また、用地、物件調査を実施し、用地取得等の準備を進めるとともに、上り線ランプ周辺の市道の詳細設計を実施した。
成果	周辺住民や地権者から一定のご理解を得ながら継続して調整をすることで、整備計画の一部見直しを行うことができた。また、設計や用地測量を行うことにより、事業の進捗を図ることができた。但し、引き続き調整が必要であり、更なるご理解を得られるよう継続していく必要がある。
課題	用地買収及び工事に向け、周辺住民や地権者に対し引き続き丁寧な説明を行い、理解を得ながら着実な事業の進捗を図る必要がある。

3 事業の分析「CHECK（評価）」

評価結果	B	現状のまま継続	前年度評価結果	B
評価の理由	供用開始に向けて、若干遅れながらも周辺住民や地権者と調整を進め、整備計画の一部見直しを行うなど、着実に事業を進捗している。引き続き、国、県、中日本高速道路(株)等の関係機関と調整を行うとともに、周辺住民や地権者の理解を得ながら事業の進捗を図る必要がある。			

4 今後の方向性「ACTION（改善）」

令和 5年度に 実施する具体的な 改善内容		用地取得について、地権者と調整を図りながら用地を購入するとともに、整備に向け、スマートインターチェンジ及び周辺市道の施工計画等について検討する。			
今後の 方向性	成果	○拡充	●維持	○縮小	○休廃止
	コスト投入	○拡大	●維持	○縮小	○皆減
今後 (1～3年以内) 実施可能な 改善内容		引き続き用地の取得について進める。また、事業の進捗に理解を深めていただくため、周辺住民や地権者、関係機関等と十分な協議、調整等を行う。			

【アウトプット指標】

指標名	関係機関との会議等の開催回数					単位	回
指標データ	R2年度		R3年度		R4年度		R5年度
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標
	3.00	1.00	4.00	3.00	3.00	3.00	1.00

【アウトカム指標】

指標名	スマートインターチェンジ整備率					単位	%
指標データ	R2年度		R3年度		R4年度		R5年度
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標
	28.00	26.00	29.00	29.00	37.00	33.00	40.00
式	計画・設計等進捗率（30%）+用地取得率（30%）+工事進捗率（40%）						
指標の狙い	（仮称）東郷スマートインターチェンジ全体の整備進捗率を分かりやすいものに設定した。						

令和04年度日進市事務事業評価シート

大事業名		基幹施設整備事業		コード		03130100-0303	
中事業名		道の駅整備事業		計画区分		①②③	
担当部等		産業政策部		担当課等		基幹施設整備課	
総合計画		コード	名 称	予算科目		コード	名 称
	基本目標	03	暮らしやすいまちを創る		会計	1	一般会計
	基本施策	13	住宅・市街地形成		款	08	土木費
	主要施策	01	計画的な市街地整備とまちの拠点形成		項	04	都市計画費
					目	01	都市計画総務費
					大	03	基幹施設整備事業
					中	03	道の駅整備事業
根拠法令・条例等							
基本計画等		日進市人口ビジョン・総合戦略、日進市道の駅基本構想、日進市道の駅基本計画					

1 事業概要「PLAN（計画）」

事務事業の概要	地域活性化の拠点施設として、都市活力やにぎわいが創出され、持続的なまちの発展と活力につながっていく「道の駅」の整備を推進する。
対象	道の駅、周辺道路等
意図（目的）	道路利用者のための環境整備に加え、子育て支援、防災・減災、農業振興といった地域課題の解決を図り、また、市民交流や情報発信の場として活用することで、地域内の経済活性、シティセールスにもつなげていく。
手段	道の駅基本計画、各種設計に基づく用地取得、施設・周辺道路等整備、管理運営事業計画の検討・構築 等

2 実施結果「DO（実施）」

事業費（千円）			R2予算額	R2決算額	R3予算額	R3決算額	R4予算額	R4決算額	R5予算額
			537,679	76,674	28,507	26,880	726,413	466,702	342,310
財源内訳	特定財源	国庫支出金	43,120	29,701	9,028	11,393	19,269	9,883	16,830
		県支出金	0	0	0	0	53,542	0	53,542
		地方債	330,000	0	0	0	423,000	328,000	167,000
		その他	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源		164,559	46,973	19,479	15,487	230,602	128,819	104,938
	人件費	正規職員	業務量		0.00 人		0.00 人		3.89 人
人件費				0.00		0.00		25,199.00	0.00
会計年度任用職員		業務量		0.00 人		0.00 人		0.00 人	0.00 人
		人件費		0.00		0.00		0.00	0.00
総事業費（千円）				76,674		26,880		491,901	0

令和04年度日進市事務事業評価シート

○令和 4年度に記載した具体的な改善内容

令和 4年度に 実施する具体的な 改善内容	用地取得について、事業認定申請の手続を完了し、用地を購入するとともに、道の駅に関する効率的な周知方法について検討する。また、周辺道路等整備工事を計画的に進める。
今後 (1～3年以内) 実施可能な 改善内容	事業の推進に理解を深めていただくため、地元本郷区、地権者、関係機関等と十分な協議、調整等を継続的に行う。また、道の駅の管理及び運営を行う指定管理者の候補者を選定し、開駅に向けた協議、調整等を行っていく。
令和 4年度に 取り組んだこと	愛知県による事業認定の告示が行われたことを受け、用地の購入を進めた。また、令和4年度分の周辺道路等整備工事を完了した。管理運営面では、道の駅地域振興施設の設置管理条例を制定した他、令和5年度に実施する道の駅の名称、ロゴ、遊具及びおもちゃの選考に係る要領を制定した。
成果	用地の取得について、事業認定に時間を要したものの、用地を91%まで購入することができた。また、周辺道路等整備工事は、関係機関との協議、調整を適切に行いながら、完了することができた。設置管理条例や各種選考要領の制定は、計画どおり着実に進めることができた。
課題	一部購入できていない用地がある。また、今後も地元本郷区や地権者との意見調整、関係機関との協議等を綿密に行いながら事業の進捗を図る必要がある。指定管理者の募集は、道の駅において柔軟なサービスの提供、より良好で効果的・効率的な管理運営の推進等が図られるよう、様々な事業者から提案を受ける必要がある。

3 事業の分析「CHECK（評価）」

評価結果	B	現状のまま継続	前年度評価結果	B
評価の理由	用地取得について、全体の91%まで完了していること、地元本郷区、地権者、関係機関等との協議、調整等を行いながら事業を進めていることから、今後も開駅に向けて同様に事業を継続し、着実に道の駅を開駅する必要があるため。			

4 今後の方向性「ACTION（改善）」

令和 5年度に 実施する具体的な 改善内容		購入できていない用地について、土地所有者の意向を踏まえながら、早急に用地を購入する。また、指定管理者の募集について、最適な選定を行うためには、東海地方における道の駅で実績がある事業者だけではなく、全国から幅広く募集する必要があることから、広報や市HP以外の周知方法を検討し、実施する。			
今後の 方向性	成果	○拡充	●維持	○縮小	○休廃止
	コスト投入	○拡大	●維持	○縮小	○皆減
今後 (1～3年以内) 実施可能な 改善内容		事業の推進に理解を深めていただくため、地元本郷区、地権者、関係機関等と十分な協議、調整等を継続的に行う。また、道の駅の管理及び運営を行う指定管理者が決まり次第、開駅に向けた協議、調整等を行っていく。			

【アウトプット指標】

指標名	委員会等の開催回数					単位	回
指標データ	R2年度		R3年度		R4年度		R5年度
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標
	4.00	3.00	4.00	3.00	4.00	3.00	4.00

【アウトカム指標】

指標名	道の駅整備率					単位	%
指標データ	R2年度		R3年度		R4年度		R5年度
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標
	60.00	34.00	60.00	34.00	61.00	58.00	67.00
式	計画・設計等進捗率(30%)+用地取得率(30%)+工事進捗率(40%)						
指標の狙い	道の駅全体の整備進捗率を分かりやすいものに設定した。						